

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

| | |
|----|-------|
| 組織 | 産業立地課 |
| 職 | 次長兼課長 |
| 氏名 | 中田 哲也 |

| | |
|--|--|
| 組織の使命・役割 | 何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か |
| 産業構造の高度化等を図るための企業誘致や港湾振興などによる地域産業の振興及び雇用機会の拡大を図り、もって本県経済の健全な発展に寄与する。 | |



| | |
|--|--|
| 組織の目標 | 使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か |
| (定性的目標) | 何をどのような状態にしたいか |
| <p>① 戦略的な企業誘致を進めることにより、新たな雇用機会の創出や、定住人口の増加、地元企業の受注増等、地域経済の活性化に資する。</p> <p>② 金沢港・七尾港における航路の充実・強化や新規航路の開設等により、企業の物流経費の軽減を図り、地域経済の活性化に資する。</p> <p>③ 金沢港や七尾港へのクルーズ船の誘致を通じた交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化に資する。</p> | |

| | | | | | |
|------------------|------------------------|-------------|------------|-------------|--|
| (定量的目標) | 具体的な指標、目標値を設定する | | | | |
| 目標とする成果指標 | 現行値 | 年(度) | 目標値 | 年(度) | 目標値の設定根拠(他県との比較など) |
| ①誘致企業による新規雇用の創出 | 818 人 | H29 年 | 2,000 人 | H28～H37累計 | 石川県長期構想(H27年度策定) |
| ②金沢港の外貿コンテナ貨物量 | 64,306 TEU | H29 年 | 70,000 TEU | H37 年 | 石川県長期構想(H27年度策定) |
| ③七尾港の木材取扱量 | 149,678 トン | H29 年 | 増加 | H37 年 | 石川県長期構想(H27年度策定) H26年度取扱量144,620トンを基準値とする |
| ④クルーズ船の寄港本数 | 55 本 | H29 年 | 40 本 | H37 年 | 石川県長期構想(H27年度策定) |
| | | | | | |



| | |
|--------------------------|--|
| 30年度に重点的に取り組むべき課題 | 左記の具体的な内容を記載する |
| ①企業誘致活動 | 全国トップレベルの優遇制度、交通アクセス、高等教育機関の集積度等々、本県の特長・優位性をPRし、国内企業や外資系企業に積極的な企業誘致活動を行う。 |
| ②港湾振興(物流) | 金沢港及び七尾港の外貿航路等の充実・強化を図るため、要望の多い航路の開設・拡充に向けた船会社、商社等への働きかけ、また、港湾活用型企業の誘致について積極的に行う。 |
| ③港湾振興(クルーズ船誘致) | 前後に宿泊を伴いより高い経済効果が期待できる金沢港発着クルーズの誘致・定着のため、受入体制の整備に加えて誘客を促進するための情報発信の強化を図る。また、本県の伝統や文化と好みが合い、消費額の大きい欧米富裕層が多く乗船するラグジュアリー船の誘致にも積極的に取り組む。 |